

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公開番号】特開2002-253819(P2002-253819A)

【公開日】平成14年9月10日(2002.9.10)

【出願番号】特願2001-59851(P2001-59851)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月23日(2008.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 始動入賞口に入賞したことを条件として図柄表示装置が変動を開始して停止し、停止図柄が特定図柄となったときに特別入賞状態に切り換わる遊技機から情報を収集する装置であり、

遊技機から出力される信号を使って変動残り回数を計算して記憶する遊技機情報収集装置。

【請求項2】 始動入賞口に入賞したことを条件として図柄表示装置が変動を開始して停止し、停止図柄が特定図柄となったときに特別入賞状態に切り換わるとともに、始動入賞数と変動開始回数の差が上限回数以上の間に始動入賞口に入賞しても図柄表示装置を変動させない遊技機から情報を収集する装置であり、

遊技機から出力される信号を使って前記上限回数によって修整された変動残り回数を計算して記憶する遊技機情報収集装置。

【請求項3】 始動入賞口に入賞したことを条件として図柄表示装置が変動を開始して停止し、停止図柄が特定図柄となったときに特別入賞状態に切り換わるとともに、始動入賞数と変動開始回数の差が上限回数以上の間に始動入賞口に入賞しても図柄表示装置を変動させない遊技機から情報を収集する装置であり、

遊技機から出力される信号を使って前記上限回数によって修整されない仮想的変動残り回数を計算して記憶する遊技機情報収集装置。

【請求項4】 始動入賞口に入賞したことを条件として図柄表示装置が変動を開始して停止し、停止図柄が特定図柄となったときに特別入賞状態に切り換わる遊技機から情報を収集する装置であり、

遊技機から始動入賞口に入賞した時に出力される信号と、遊技機から変動開始及び／又は変動停止時に出力される信号を入力して、変動残り回数を計算して記憶する遊技機情報収集装置。

【請求項5】 始動入賞口に入賞したことを条件として図柄表示装置が変動を開始して停止し、停止図柄が特定図柄となったときに特別入賞状態に切り換わるとともに、始動入賞数と変動開始回数の差が上限回数以上の間に始動入賞口に入賞しても図柄表示装置を変動させない遊技機から情報を収集する装置であり、

記憶されている前記上限回数と、遊技機から始動入賞口に入賞した時に出力される信号と、遊技機から変動開始及び／又は変動停止時に出力される信号から、前記上限回数によって修整された変動残り回数を計算して記憶する遊技機情報収集装置。

【請求項 6】 始動入賞口に入賞したことを条件として図柄表示装置が変動を開始して停止し、停止図柄が特定図柄となったときに特別入賞状態に切り換わるとともに、始動入賞数と変動開始回数の差が上限回数以上の間に始動入賞口に入賞しても図柄表示装置を変動させない遊技機から情報を収集する装置であり、

遊技機から始動入賞口に入賞した時に出力される信号と、遊技機から変動開始及び／又は変動停止時に出力される信号から、前記上限回数によって修整されない仮想的変動残り回数を計算して記憶する遊技機情報収集装置。

【請求項 7】 始動入賞口に入賞したことを条件として図柄表示装置が変動を開始して停止し、停止図柄が特定図柄となったときに特別入賞状態に切り換わるとともに、始動入賞数と変動開始回数の差が上限回数以上の間に始動入賞口に入賞しても図柄表示装置を変動させない遊技機から情報を収集する装置であり、

遊技機から始動入賞口に入賞した時に出力される信号と、遊技機から変動開始及び／又は変動停止時に出力される信号を入力し、変動開始及び／又は変動停止時に出力される信号の時間間隔が所定時間以上に離れたときに前記上限回数を推論する手段を有する遊技機情報収集装置。

【請求項 8】 始動入賞口に入賞したことを条件として図柄表示装置が変動を開始して停止し、停止図柄が特定図柄となったときに特別入賞状態に切り換わる遊技機から情報を収集する装置であり、

遊技機から出力される変動残り回数情報を収集して記憶する手段を有する遊技機情報収集装置。

【請求項 9】 請求項 1 から 8 のいずれかに記載の遊技機情報収集装置であり、特別入賞状態に切り換わった時の変動残り回数を記憶する手段を有する遊技機情報収集装置。

【請求項 10】 請求項 9 に記載の遊技機情報収集装置であり、特別入賞状態が終了した後の変動残り回数が記憶されている変動残り回数に等しくなったタイミングを検出する手段を有する遊技機情報収集装置。

【請求項 11】 請求項 10 の遊技機情報収集装置であり、特別入賞状態に切り換わった時から前記タイミングまでの期間以外での変動開始回数を記憶する手段を有する遊技機情報収集装置。

【請求項 12】 請求項 11 の遊技機情報収集装置であり、前記期間以外でのアウト数を記憶し、前記期間以外でのアウト数と変動開始回数の比を計算する遊技機情報収集装置。

【請求項 13】 請求項 11 の遊技機情報収集装置であり、前記期間以外での経過時間を記憶し、前記期間以外での経過時間と変動開始回数の比を計算する遊技機情報収集装置。

【請求項 14】 請求項 3、6 のいずれかに記載の遊技機情報収集装置であり、仮想的変動残り回数が所定回数を超えたときに、遊技者に利益を与える処理を実行する手段が付加された遊技機情報収集装置。

【請求項 15】 請求項 1、2、4、5、8 のいずれかに記載の遊技機情報収集装置であり、計算された変動残り回数が所定回数を超えたときに、遊技者に利益を与える処理を実行する手段が付加された遊技機情報収集装置。

【請求項 16】

請求項 1 から 9 のいずれかに記載の遊技機情報収集装置であり、特別入賞状態が終了した時の変動残り回数を記憶する手段を有する遊技機情報収集装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

前記した各種の遊技機情報収集装置の場合、特別入賞状態に切り換わった時の変動残り回数（即ち、特別入賞状態開始時の変動残り回数）を記憶する手段を有することが好ましい。さらに、特別入賞状態が終了した後の変動残り回数を監視し、監視された変動残り回

数が記憶されている変動残り回数に等しくなったタイミング（消化状態の終了タイミング）を検出する手段を有することが好ましい。

この場合、特別入賞状態から消化状態をへて通常状態に復帰する状態の変化タイミングを正確に検出することができる。